

# のりたけ 宣弘

# 則武のぶひろ議事録

## 論戦採録



### 六月定例市議会第三日目、則武宣弘議員は政令市、特例区、行財政改革、総合施設について質問をした。

## 岡山市を州都に！

### 政令市

則武氏 政令市昇格の70万人の人口要件を超えるためにはどのような合併の枠組みを考えているか。周辺の市に対して「門戸を開けるよう」に取り組んではどうか。

萩原市長 レース途中でどうしても(人口が)足りないということになれば(近隣自治体に)頭を下げて岡山全体の発展のために(合併を)頼むという時期が来るかもしれない。



則武氏 道州制後の州都を目指した政令市を考えているのか。

萩原市長 道州制が現実味を帯びてくれば、そのレースに参加したい。政令市でなければ(州都を争う)土俵に上がれないという議論がある。最低限そこまで、もっていかねばいけない。

則武氏 倉敷市との連携はより強化を図っていくかなければならない。政令市として広島市にも負けないような都市圏を形成することは大事ではないか。そのために

### 合併特例区

津、灘崎両町に設けら

### 新行財政プラン

則武氏 新行革プランは平成16年度から19年度までで縮減目標が50億円に設定している。進捗状況は16年度の取り組みで26.7億円、53%の進捗率。そのうち職員に係る経費の縮減率は目標の35億円に対して6.8億円の19%である。この進捗状況についてどのように考えているのか。また見直す点や付け加えていく事業などはないか。

### 総合施設

則武氏 厚生労働省と文部科学省は全国36施設に就学前の保育と教育を一体として捉えて保育園と幼稚園の機能をひとつにした「総合施設」のモデル事業を今年度に行い、来年度18年度から本格実施を考えている。「総合施設」の実施に向けての懸念はあるのか。また今後の保育園行政や幼稚園行政との整合性やすみ分けなど、どのように考えていくのか。

## 視点

### 五月臨時 岡山市議会を振り返って

臨時市議会の最大の焦点は、議長を含めた議会人事である。議長人事が決着したのは、夜が明けた5月18日の午前5時25分だった。恒例の「徹夜議会」となり、今回も是正されることはなかった。

池上局長 物件費に対して人件費は職種変更や雇用保障の問題があり、合理化には一定の時間が必要。初年度達成率の19%は低くなっているが、労働組合や関係部署と協議を進め、達成率を高めていく。改革事項は今後秋に向けて進捗管理をして事業再点検をすすめる。可能な限り18年度予算に反映させたい。

そもそも原因は、議会運営委員会が親和クラブが本会議の延期を申し出て、その後、各党派調整の場となる各党派代表者会議(全会一致が原則)において政隆会が会派内の調整を理由に更に延期を申し出て、ずるずると午前様となった。ここで政隆会の会派の調整とは共産党岡山市議団の支持が見込める親和クラブの花岡氏での調整であったのだろうか。これまでも市長と政隆会が、現市長と距離を置く親和クラブや共産党と手を組むことは「禁じ手」を使つての多

## 岡山市農業の課題を研究



党岡山市議団(団長 則武宣弘市議)は6月24日、議会内で岡山市農業委員会(会長・守屋彰二)、岡山市農

業後継者問題、集落営農の推進など岡山市農業の課題について説明を受けた。その後、懇談となり貝原新三郎副会長より「儲かる農業」の推進を図ることが、課題の解決になるとの持論が展開された。それを受けて高月由起枝市議より灘崎の千両ナスのような商品開発や、米の消費拡大のための地産地消、食育の推進の重要性について市議団としても取り組むことを訴えた。

最後に農業委員会から原油価格の上昇にともない、ビニールハウスなどの燃料費の高騰で農家が困っているのが、固形燃料の補助制度がでないかとの提案があった。松岡茂市議が「市議団としても研究してみる」と検討を誓った。

数派工作と言わざるを得ない。私も公明党市議団は、議長選挙に臨む基本姿勢として、①多選禁止(2期4年間までは可)②議長たる品格③議会改革を断行する姿勢の3項目を立てて今回もそれらを踏まえ総合的に判断してきた。ただ議会の人事を理念の無き野合で組み、理由も無く本会議を延期する手法には市民の理解も得られない。今後も清新で改革できる岡山市議会に向けて議会改革に取り組んでいきたい。



野田4丁目地内 転落防止柵設置

### フォトダイジェスト

地域の皆様の 皆様の にご要望に 応えて参ります。



谷万成1丁目地内 カーブミラー設置



足守栄町公会堂の壁 塗り替え整備

